

2022.7.21



地域日本語支援ニュース こだま 第421号

ともに生きる

～地域で、日本で、そして世界で～

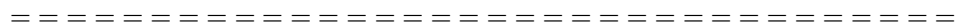


★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>



■私たちの挑戦：愛知県豊田市から■

引っ越しには気力、体力が欠かせず、どこか不安も伴うものです。長年青森市民として地域の日本語支援に携わってこられた新山さんにも、そんな経験が昨年夏、思いがけず訪れました。新天地、愛知県豊田市への転居、心落ち着かない模索の日々、その後、新たな活動との出会い、そして今、新たな一歩が踏み出せたとお聞きしました。今回、そうした経験と思いを綴ってくださいます。



「生涯現役」に向けて

「とよた日本語学習支援システム」

プログラム・コーディネーター

（青森の日本語学習支援「青い森」代表も継続中）

新山 和子

◆車の街からこんにちは～！！

昨年9月に「リンゴの国・青森市」から「車の街・豊田市」に移住しました。

雪が大好きで青森市在住60年、その私が終の棲家・青森を離れることは全然考えていなかったのですが、流れに任せていたら豊田市に来ていました。最初は「ここはどこ？」の迷子でしたが、今ではナビのおかげでいろいろな所に行けるようになりました。

#### ◆豊田市交際交流協会との出会い

迷子の私がナビを頼りに行った最初の場所は豊田市国際交流協会でした。今まで携わってきた日本語教育で何かできることはないかと相談したところ、協会主催の日本語教室・第3期が開催されているとのことで見学を勧められました。見学後、翌週から日本語パートナー（日本語支援者）としてお手伝いをする事になり、ブラジルや中国の方たちとの交流ができました。

#### ◆「とよた日本語学習支援システムプログラム・コーディネーター」研修

第3期の日本語教室終了後、協会の日本語学習支援チーム担当者から連絡があり「とよた日本語学習支援システムプログラム・コーディネーター」研修の受講を勧められました。この研修を修了すれば、教室活動を企画・運営していく「プログラム・コーディネーター」として活動することができます。豊田市初心者マークの私が受講しても良いのだろうかと思いましたが、担当者に励まされた結果、受講を決めました。

研修は12月12日から3月12日まで、座学が10回・実習が3回。9月から3か月ほどボーっとしていた私にはハードなスケジュールでしたが、とても魅力的かつ刺激的な講座で、毎回「目から鱗が落ちる」状態でした。

#### ◆研修で学んだこと

豊田市国際交流協会主催の日本語教室には3つの目標があります。

- 1：外国籍の皆さんに日本語を学ぶ機会を得てもらう。
- 2：日本人の皆さんに外国の皆さんに分かりやすい日本語の使い方を学んでもらう。
- 3：外国籍の皆さんが暮らしやすい地域、働きやすい職場になること。

私は今まで、日本語を教えるという立場で仕事やボランティア活動をしてきましたが、この教室では教えるのではなく、学習者は日本人と接して自然な日

本語に触れ、何度も同じフレーズをアウトプットすることで言葉を身に着けていくというシステムです。このシステムの「教える人と学ぶ人という役割分担がない」という考え方は現在広がっていきつつあると感じています。そして、このような人間関係を築くことが外国籍の皆さんに「豊田市ひいては日本」は暮らしやすいところと思ってもらえることに繋がるのではないかと考えています。

#### ◆「とよた日本語学習支援システムプログラム・コーディネーター」デビュー

大型連休明け、ついに私の担当がスタートしました。テーマは「休みの日」。まず、私から学習者に「休みはいつですか／いつも休みは何をしますか／どこか行きますか／だれと行きますか」などのモデル文を提示します。続いて日本語パートナーとの話し合いが始まり、その後に学習者による発表となります。超あがり症の私は一番前のテーブルに座った顔見知りの学習者の笑顔に励まされて 90 分を終えました。焦って時間配分を見誤るなど反省点は多々ありましたが、何とかデビューができました。

#### ◆最後に

青森にいたときは外国籍の皆さんの居場所作り活動をしていました。豊田市で出会った日本語支援活動は、それまでとは大きく異なるもので、最初は戸惑いました。ですが、自分の身に起きた全く不案内な土地への転居を通して感じたことがあります。今の私はこれまで出会ってきた外国籍の皆さんとまるで同じだということです。異文化圏の人々の気持ちが改めて身に沁みました。と同時に私のモットーである「生涯現役」に向かうための目標が決まりました。たくさん学習者の皆さんと出会うこと、私自身が一つでも多くの居場所に出会うこと、そのために、さらにいろいろなグループ活動を見つけ、積極的に参加していきたいと思っています。

とよた日本語学習支援システム HP <https://www.tia.toyota.aichi.jp/jp-site/>

青森の日本語学習支援「青い森」にかかるこだまの過去の記事

247号（2013年度） <https://www.ajalt.org/file/kodamabn/kbn2013.zip>

383号（2020年度） <https://www.ajalt.org/file/kodamabn/kbn2020.zip>

クリックすると、zip形式で当該年度の全ての記事がダウンロードされます。

---